

Rotary



小樽南ロータリークラブ会報



1960年創立
昭和35年2月5日

5

2018年 8月3日発行
通巻 第2839号

●本日8月3日金のプログラム

◆新入会員卓話
荒井会員・京谷会員

●本日8月10日金のプログラム

◆夜間例会 ニュー三幸 麦羊亭 1F

●本日8月17日金のプログラム

◆休 会

●2018-2019年度 IRテーマ



インスピレーションになる

2018-2019年度 RI第2510地区重点課題

- 組織を活性化しよう
- ロータリーの認識・理解を深めよう
- 地域社会との関わり合いを深めよう

- 例会場/ニュー三幸
- 例会日/毎週金曜日12時30分
- 事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 TEL.0134-33-3500
- Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第4回例会報告(7月27日金) 新入会員卓話

- ◆ロータリソング【それでこそロータリー】
- ◆正武家事務員へ



毎月有難うございます

◆会長報告【工藤会長】

本日より、小樽はいよいよ潮まつりが始まり、明日の「練り込み」には小樽市内ロータリークラブ3クラブが参加いたしますが、高温が予想されますので「ゴール」地点まで無事踊りつくこと願っております。

来る10月20日(土)・21日(日)開催の「地区大会」へ多くの会員登録をお願いします。「記念講演」には、精神科医・作詞家 元「ザ・フォーク・クルセダーズ」メンバーの、北山修氏の「あの素晴らし愛について」が予定されております。また 懇親会には「誰もいない海」、「虹と雪のバラード」等のヒット曲を放った、トワ・エ・モワさんのアトラクションも予定されております。

◆幹事報告【湊幹事】

①例会変更の案内

小樽RC 8/14(火)定款第6条第1節C項により休会

- 小樽銭函RC 8/9(木)定款第6条第1節C項により休会
- 8/21(木)定款第6条第1節C項により休会
- 8/24(金)夜間例会
- 余市RC 8/15(水)規定休会
- ②潮まつりねりこみの集合場所の変更 会報4号に記載
- ③夜間例会の案内 8月10日 18:00~
- 三幸1階にて納涼ジンギスカン例会。会費2,000円
- ④再度、案内をしますが、8月17日は定款第8条第1節(c)に記載されている項目に基づいて、休会とします。
- ⑤8月31日 ガバナー公式訪問のため、理事・委員長の早めに出席の案内

◆委員会・同好会報告【社会奉仕委員会 本間委員長】

明日の「練り込み」に参加の会員へ小樽南RCロゴ入り 法被を用意しておりますので 事務局までお申し込みください。

◆出席委員会

平成30年7月27日(金)

会員総数 65名 本日の欠席者 14名
石川、井出、太田、大倉、岡崎、佐藤(公)、白石、西谷、野村、廣部、松尾、松浦、宮川、盛

平成30年7月13日(金)

会員総数	65名	名出席摘要免除者数	9名
ホーム欠席者数	15名	メーキャップ数	3名
純欠席者数	12名	確定出席率	80.95%

◆メーキャップ

7/13 山田(小樽RC)



新入会員卓話 例会運営委員会担当例会



堀内万記子 会員

新入会員の堀内でございます。本日はこの様な機会を頂きましてありがとうございます。私の会社の主力商品である飯寿司についてお話したいと思います。

何故飯寿司を作ようになったかと申しますと、先祖は鯉の網元だったそうです、安政年間の頃、江戸末期には近江商人で海鮮問屋だったそうで、北前船で江差と大阪を行き来していました。その頃の江差は「江差の五月は江戸にもない」と言われるくらい賑わっていたそうで、我が家の祖先の松前藩から許可をもらって鯉魚を始めました。小樽はその出張所として、鯉の北上と共に小樽に上って来ました。残念ながら昭和29年には、ぱったりと鯉は取れなくなったのですが、その頃作っていた飯寿司が今の弊社の設立に繋がりました。

飯寿司は、昔は冬の栄養源となり、保存食にもなり、そしてアミノ酸発酵で旨味いっぱいの美味しい食べ物です。先人が考えた贈り物、優れた食品が発酵食品です。

昔、北海道はお米が取れませんでしたので、お米、麴で発酵させた飯寿司はお正月の御馳走でもありました。ここにおいでの皆様は、飯寿司はどのようなものかよく分かっておいでですが、今の若いお母さんは飯寿司を知らない、ですから当然子供達も知らないという私どもには困った状況となっております。

鯉は小樽の歴史と深く関わっている魚です。飯寿司も北海道、小樽の郷土食の一つです。それを残していくためにはどうしたら良いのか、それが私の大きな課題となっております。

子供達には美味しくないと思われてもいいから、まずは食べてもらう、へんてこな食べ物という記憶が残っていいから「昔飯寿司というものを食べたなあ」という記憶を残したいと私は思っております。

郷土食を守り、伝えていくということは食育にも繋がりますので、子供たちが郷土の歴史を学ぶと共に鯉や飯寿司についても学んで頂きたいと思っております。

これから気候変動で小見の生態系も変わっていくと思いますが、小樽には水産業はなくてはならない産業です。何とか私も頑張っ参ります、

本日はご拝聴ありがとうございました。



高橋 朋子 会員

南部アフリカに位置する内陸国ジンバブエで、子ども達に伝統楽器やダンスを教えるNGOジャナグルアートセンターを主宰しています。センターの用地は首都ハラレ市から寄付を受け、建物は4年を要して2009年に完成。同年、途上国で文化活動を行う団体を対象にした外務省の草の根文化無償基金に三度目の申請をして採択され、スタジオのための録音機材と楽器を揃えることもできました。

センターの敷地には、干ばつや食糧事情の悪化に備え、マンゴー、アボガド、バナナ、パパイヤなどを植え、収穫時には病院や施設にも届けています。

さて、ジンバブエには5つ以上の民族が暮らし、それぞれ特有の踊りを継承していますが、それらを全て踊れるという人がいません。そこで各地から先生に来てもらいセンターで子ども達に教えたところ、大人顔負けの素晴らしさ！そこで、もっと多くの人たちに見てもらいたいと、2010年日本ツアーをはじめました。公演は大変好評で、NHK秋田が2010年に撮影したドキュメンタリーを見た福島の方から、地元の和太鼓グループとキャンプを、とご連絡をいただき、すぐに福島に飛んだのですが、その2週間後に地震が起きて公演は中止となりました。2011年は、岩手の被災地、仮設住宅をバスで回り忘れられないツアーとなっております。

40日間の日本ツアーは今年9回目を迎えました。昨年“小樽・ハラレ友好協会”が設立され、おかげさまで小樽の小中学校で公演し交流ができるようになりました。子ども達には、世界の一員として生きていって欲しいと望んでいます。

まごころ箱

- 見延 会員 右頸動脈にステントを入れる作業の為、ドッグ入りしていました。またシャバに戻りましたので宜敷く！
- 斎田 会員 7/25に台湾の先住民族の子供達による「台湾原声童合唱団」のコンサートをマリナーホールで開催し、会場一杯の市内小学生と市民の皆さんに美しい歌声を届け、大成功に終わりました。小樽日台親善協会の会長として感謝しております。
- 阿部 会員 ゴルフ同好会 お陰様でやっとう優勝！させていただきました。有難うございます。
- 工藤 会員 ロータリアンが無事「潮音頭」を最後まで踊れますように。(祈願！)
- 三栖 会員 会員親睦委員長就任！よろしくお願ひいたします。

まごころ箱入金集計額 (H30.7.6~H30.7.27)

7月27日分 13,000円
 合計 **129,000円**
 いつも有難うございます！